

## 第4回栗東市子ども・子育て会議 会議録要旨

日時・場所	令和元年11月19日(火) 午後6時30分～午後8時20分 栗東市役所2階第4・5会議室
出席委員	神田萌子委員、武村貴菜委員、茨木知佳委員、清水久輝委員、神門則子委員、木築野百合委員、寺井利彦委員、國松芳子委員、柴田美知代委員(会長)、井上和子委員(副会長)、柏川敏子委員、北村一子委員、明田弘美委員、岸本祐子委員
欠席委員	菱田苗里委員、萩原雅人委員、山本喜美委員
事務局	子ども・健康部長、子ども・健康部次長、幼児課参事、幼児課課長補佐、健康増進課長、子育て応援課長、子育て応援課子育て支援係長、子育て応援課子育て支援係担当、計画策定業務委託事業者
事 項	1 開会 2 市民憲章唱和 3 挨拶 4 議事 (1) 第2期栗東市子ども・子育て支援事業計画(素案)【資料1】 ① 確保の方策について〈第6章〉 ② (素案)全体について 5 その他 6 閉会

### 1 開会

### 2 市民憲章唱和

### 3 挨拶

・会長が挨拶を行った。

・事務局より委員17名中14名の出席により定足数を満たしているため、会議が成立することを報告した。

・事務局より傍聴希望者がいなかったことを報告した。

### 4 議事

#### (議事1)

#### 第2期栗東市子ども・子育て支援事業計画(素案)【資料1】

##### ① 確保の方策について〈第6章〉

・事務局が資料の説明を行った。

委 員            P70の一時預かり事業について、平成30年度の実績値が2,014人で、すごく多いのは実際にこれだけ利用者がいたということか。また、今後の量の見込みが平成30年度の実績値の半分以下となっているのはなぜか。

事 務 局        一時預かり事業は、法人立保育園3園で実施しており、現在は2園が休止中であるが、実際の受入人数が減っている状況である。潜在的に使いたい方はいるかもしれないが、国の手引きに基づき、利用意向や実績を勘案して算出した数字に補正を加えた結果、平成30年度の実績値と比

べて半分以下の量の見込みとなった。

委員 2園が休止中なので量の見込みが減ったということか。

事務局 昨年度に実施したニーズ調査を踏まえ、量の見込みを算出させていただいた結果である。

委員 預かるところが増えるから一時預かり事業の量の見込みが減るということではないのか。保育園をこれだけ開園するから減るという根拠があったのものと思っていたがどうか。

事務局 保育園を待機となっている方が一時預かり事業を利用して増えていたところはある。また、一時預かり事業は、幼稚園に在園されていない方を対象としているが、以前は在園している方も利用されていた。その分を引いて考えるとかなりの数が減ることになる。

委員 この2, 014人には在園されている方も含まれているということか。

事務局 そうである。今回、保育園を待機となる方が減るような計画を立てているので、その分、定期的な一時預かり事業の利用者は減っていくと考えている。

委員 現在休止中のところには、今後も協力を依頼していくのか。

事務局 休止をされている理由は、保育士不足のためである。今後、新規に開園していただくところにも、保育士が確保できるのであれば、一時預かり事業や延長保育事業の協力を依頼していきたいと考えている。しかし、保育士の確保が問題であり、求人倍率が他の業種の2倍程度高くなっている。県で就職相談会を開催された時にブースを出していたが、それだけでは確保できないので、市独自の取り組みとして、幼児課で就職支援のコーディネーターを採用し、ウェブページで職員募集の案内を今年度から行っている。

委員 保育園に入れないという声を聞くことがあるが、これを見ると余裕があるように見える。実際のところはどうか。

事務局 各保育園には年齢ごとの定員があり、特定の保育園に希望者が集中すると、希望する保育園に入れなくて待機となる場合がある。市全体の定員で考えるとその数は見えてこない。確保方策が過大ではないかと思われるかもしれないが、地域や年齢の偏在性により入れない方の受け皿となることも考慮して設定させていただいている。

委員 希望する保育園に入れなかった場合に市が調整されると思うが、保護者にとって不都合な保育園に行かされる可能性もあるのか。

事務局 自宅から極端に遠いところや通勤経路から離れているところには案内しないが、通える範囲で入れる保育園があれば保護者に伝えるようにしている。

委員 その場合、子どもが2人いて同じ保育園に入れるのであればよいが、別々の保育園になることもあるのか。

事務局 定員や申込状況により、兄弟が別々の保育園に通っていただいていることもある。

委員 現在、そのような兄弟はどれくらいいるのか。

事務局 上の子どもが既に保育園に入っていて、下の子どもが生まれたから年度の途中から保育園に入ろうとする場合は、同じ保育園で調整することは難しい。年度当初であっても、点数の高い方から調整していくので、点数の低い方で兄弟が別々の保育園に入っておられる方も若干おられる。定員を増やすことで、兄弟で別々の保育園に通っていただくことがないようにしていきたいと考えている。

委員 未満児は入りにくいとは保護者から聞くことがある。保育園が増えても

保育士が不足していれば結局は入れない。保育士の待遇を考えることはできないのか。

事務局 施設の定員を増やすためには建物を建てればいいが、保育士が足りなければ施設の定員まで入っていただくことができないことになる。特に湖南地域では保育士の取り合いも生じており、求人倍率が全国で20番に入るほど保育士が不足している。潜在保育士を雇用につなげることができれば良いが、潜在保育士がどこにいるのかという情報を市は持っていない。県でも待機児童対策協議会を設置し、保育士確保についての部会の中で検討していくことになっている。国も保育士不足が深刻であることは認識されており、待遇の改善についての補助事業もされているので、それらを活用しながら保育士の確保をしていきたいと考えている。

委員 これから入所の調整会議をされると思うが、年度の途中では保育園に入れられないという声を聞くので、その点も考えていただきたい。

委員 潜在保育士がどこにいるのかという話があったが、保育士である母親が、勤務先の保育園に子どもを預けることができたなら働きやすいということを何かの記事で読んだことがある。栗東市ではそのようなことはされていないのか。

事務局 保育士として働いていただく場合、その子どもには加点をして入園しやすくしている。保育士が1人増えると、0歳児では3人、1、2歳児では5、6人を受け入れることができる。フルタイム勤務の方は通常であれば10点であるが、そこにさらに加算をしている。以前は、働いている保育園に子どもを連れて来ないよという法人立保育園もあったが、国からも勤務している保育士の子どもを同じ保育園で受け入れするよという通知が出たことから受け入れている保育園も増えている。

委員 栗東市ではどうされているのか。

事務局 公立の保育園であれば、4月に配属を決定するので、先に子どもの入園が決定してから母親の配属が決まることになる。

委員 保育士を確保しようとするなら、その方が子どもを連れて安心して働ける場を作る方がいいと思う。

委員 保育士には加点があるということは周知されているのか。

事務局 配布している入園案内に点数表を載せているので、それを見ていただければわかる。

委員 大津市、草津市等の他市在住で、栗東市の保育園に勤務している保育士が栗東市の保育園に預けたいという場合はどうなるのか。

事務局 実際に、他市在住で、栗東市の保育園に勤務している保育士が栗東市の保育園に広域入所をしたいという方はおられて、栗東市在住の方と同様に受け入れをしている。

委員 他市の保育園からでも保育士に来ていただかなければならない。栗東市は他市より給料が良いということがあれば来ていただけるかと思う。その部分も考慮していただけたらと思う。

委員 知り合いの保育士が大津市に住んでいるが、出産を機に退職後、育児相談や健康診断の際に、保育園を開園するから来てほしいと誘われて、子どもも連れて来ていいと言われたので働くことを決めたということであった。

委員 P76の学童保育所と放課後こども教室の一体的または連携による取り組みについて、放課後こども教室は、週1回、地域のボランティアと子どもが小学校の体育館やコミセンを使って活動をされている。学童保育所と一緒にすると書かれているが、既に一緒にされているから書かれて

いるのか。  
事務局 現状、学童保育所と放課後こども教室がいろいろと合同で活動されているところもある。

## ② (素案) 全体について

・事務局が資料の説明を行った。

委員 P60の10について、「子どもの貧困対策」という言葉が気になる。こども食堂のボランティアをしているが、ここに来ている子は貧困なのかと思われる。もう少し違う記載方法にならないかと思う。最初はそのような目的で県がスタートしたかもしれないがどうか。

事務局 社会問題として、子どもの貧困は全国的にキーとなる言葉なので、あえて入れている。栗東市の場合は、子どもの貧困対策としてのこども食堂ではなく、子どもの居場所づくり、健全育成が目的となっている。その一方で、計画には「貧困対策」という言葉を入れたいと考えている。内部でも検討するが、何かよい記載方法があれば、ご意見いただけたらと思う。

委員 こども食堂は異世代交流の観点でされていると思っていた。「貧困対策」という言葉を事業名に記載すると圧力を感じられる方もいると思う。事業名は、異世代交流、地域のふれあい交流というような記載にして、事業内容として、貧困対策も含むという記載であればどうか。

事務局 ご意見いただいたように、事業内容で、居場所づくりに加えて、貧困対策についても考えていくというような記載にさせていただく。

## 5 その他

次回の会議日程について

・次回の会議は、2月中旬か下旬に開催する予定をしている。

計画(素案)の修正について

・本日の会議での意見を踏まえ、計画(素案)を修正し、会長に確認していただく。

パブリックコメントについて

・計画(素案)を12月議会で報告後、12月26日から1月24日までパブリックコメントを実施する。その後、いただいた意見を踏まえ、必要に応じて修正を行う。

## 6 閉会

・副会長が挨拶を行った。

以上